

**高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語**

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

使用教科書：（現代の国語（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>「生きもの」として生きる(中村 桂子)</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明する。 筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書く。</p>	<p>・指導事項 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…「生きもの」として生きる(中村 桂子) ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。</p>	○	○	○	3
<p>「本当の自分」幻想(平野啓一郎)</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握する。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書く。</p>	<p>・指導事項 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…「本当の自分」幻想(平野啓一郎) ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。</p>	○	○	○	3

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書 読					
1 学 期	<p>砂に埋もれたル・コルビュジェ（原田マハ）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。</li> <li>主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。</li> <li>本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。</li> <li>父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の効果的な接続の仕方を理解する。</li> <li>主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>読書の意義と効用を理解する。</li> </ul> <p>・教材…砂に埋もれたル・コルビュジェ（原田マハ）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取るなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。</li> <li>本文に叙述された本に対する思いを積極的に読み取り、自分にとって思い入れのある本を、根拠を示してまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
	<p>話し方の工夫</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。</li> <li>比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使用する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとする。</li> <li>積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとする。</li> <li>積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとする。</li> <li>積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。</li> <li>相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。</li> <li>相手により伝わりやすい表現方法を理解する。</li> </ul> <p>・教材…話し方の工夫</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。</li> <li>比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。</li> <li>積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。</li> <li>積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。</li> <li>積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
	定期考査						○	○	
	<p>水の東西（山崎正和）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。</li> <li>主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。</li> <li>東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。</li> <li>水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。</li> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。</li> <li>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。</li> <li>東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。</li> <li>調べたことを整理して、説明資料にまとめる。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>文章の効果的な接続の仕方を理解する。</li> <li>主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>読書の意義と効用を理解する。</li> </ul> <p>・教材…水の東西（山崎正和）</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</li> <li>主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。</li> <li>東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。</li> <li>水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・ 聞	書	読					
<p>論理分析【対比】 「間」の感覚（高階秀爾）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとする。</p>	<p>・指導事項 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・教材…「間」の感覚（高階秀爾） ・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。</p>				4
<p>待遇表現</p> <p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使用する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>・指導事項 ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようにする。</p> <p>・教材…待遇表現 ・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。</p>				4
定期考査									1
<p>論理分析【具体と抽象】日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二・三」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、「いる」と「ある」の違いを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。</p>	<p>・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・教材…日本語は世界をこのように捉える（小浜逸郎） ・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二・三」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、「いる」と「ある」の違いを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。</p>				4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話 聞	書	読					
	<p>無彩色の色（港千尋）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明する。 ・本文中で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深める。</p>	<p>・指導事項 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…無彩色の色（港千尋） ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。 ・本文中で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>論理的な表現</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使用する。主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫する。 ・読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合う。</p>	<p>・指導事項 ・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現の仕方について理解する。</p> <p>・教材…論理的な表現 ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使っている。主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 ・読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	3
	定期考査					○	○		1	
2 学 期	<p>現代の「世論操作」（林香里）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。</p>	<p>・指導事項 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…現代の「世論操作」（林香里） ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。</p>	○	○	○	3



	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書 読					
3 学 期	<p>夢十夜（夏目漱石） 文学のしるべ</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の工夫を工夫して自分の考えを的確に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとする。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとする。</p>	<p>・指導事項 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の工夫をする。 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩や言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p> <p>・教材…夢十夜（夏目漱石） ・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、根拠の示し方や説明の仕方、表現の工夫を工夫して自分の考えを的確に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・「第一夜」あるいは「第六夜」で解釈した内容をまとめ、表現を工夫しながら積極的にコラム記事を書こうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>論理分析【推論】 AIは哲学できるか（森岡正博）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の工夫を工夫する。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。</p>	<p>・指導事項 ・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の工夫を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。</p> <p>・教材 AIは哲学できるか（森岡正博） ・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の工夫を工夫している。 ・推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめている。</p>	○	○	○	3
	<p>日本の労働問題に関わる資料を読み比べる</p> <p>【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の工夫を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめる。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の工夫を工夫してまとめる。</p>	<p>・指導事項 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけ理解したことをまとめる。 ・文章や図表に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・図表等を読み、理解したことをまとめる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、表現の工夫を工夫する方法を学ぶ。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解し、活用する。</p> <p>・教材…日本の労働問題に関わる資料を読み比べる ・一人1台端末の活用 等</p>	○		<p>【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の工夫を工夫する。 ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・複数の図表を粘り強く読み取り、理解したことを学習課題に沿ってまとめる。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の工夫を工夫してまとめる。</p>	○	○	○	3

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・ 聞	書	読					
<p>相手に伝える案内をする</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉の特徴などを踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解し使用する。</li> <li>情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使用する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。</li> <li>自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。</li> <li>話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。</li> <li>話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じる。</li> <li>進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話す。</li> <li>積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価を行う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に沿って的確に案内する方法を理解する。</li> <li>相手に配慮しながら案内する方法を理解する。</li> <li>相手や場の状況を押さえて案内することができる。</li> </ul> <p>・教材…相手に伝える案内をする ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し言葉の特徴などを踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解して使っている。</li> <li>情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</li> <li>自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫している。</li> <li>話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</li> <li>話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。</li> <li>進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。</li> <li>積極的に来場者役や評価者を務め、評価の観点に沿って評価しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>合意形成のための話し合いを行う</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解し使用する。</li> <li>情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使用する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。</li> <li>自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成を工夫する。</li> <li>資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫する。</li> <li>話し合いを振り返り、評価する。</li> <li>話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解する。</li> <li>今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出す。</li> <li>積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価を行う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの進め方のルールを理解する。</li> <li>論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。</li> </ul> <p>・教材…合意形成のための話し合いを行う ・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすさなどに配慮した言葉遣いについて理解して使っている。</li> <li>情報の妥当性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</li> <li>自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、話の構成を工夫している。</li> <li>資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</li> <li>話し合いを振り返り、評価している。</li> <li>話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。</li> <li>今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。</li> <li>積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
									合計
									70

# 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>古文の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもつ。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。</li> </ul> <p>・教材・古文の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>我が国の言語文化の特質について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。</li> </ul>	○	○		2
<p>児のそら寝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> <li>古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを捉え、内容を解釈する。</li> <li>説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを捉え、内容を解釈する。</li> <li>説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> </ul> <p>・教材・児のそら寝</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。</li> <li>説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>羅生門（芥川龍之介）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。</li> <li>作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深める。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。</li> <li>老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとする。</li> </ul>	<p>・指導事項…下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。</p> <p>・教材…羅生門（芥川龍之介）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取っている。</li> <li>作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。</li> <li>老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>					○	○		1	





単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話 聞	書	読					
<p>伊勢物語</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。</p>	<p>・指導事項 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「東下り」では課題に応じて調査する。 ・「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。</p> <p>・教材…伊勢物語 〔歴史の窓〕 ・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>完璧（十八史略）</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考えや人物像を読み取る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝を読み、蘭相如の考え方や人物像を説明する。</p>	<p>・指導事項 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考えや人物像を読み取る。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「瀧池の会」と読み比べ、課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・「完璧」の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</p> <p>・教材 完璧（十八史略） ・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考えや人物像を読み取っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝を読み、蘭相如の考え方や人物像を説明しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>菫のうへ</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合う。</p>	<p>・指導事項 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 ・情景にこめられた孤独感など、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・教材…菫のうへ ・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。</p>	○	○	○	2
<p>一つのメルヘン</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解する。</p>	<p>・指導事項 ・詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。 ・象徴的な表現を読み解き、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・教材…一つのメルヘン ・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>									1



	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価基準	知	思	態	配当 時数
			話 聞	書	読					
3 学 期	平家物語  【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。  【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。	・指導事項 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。  ・教材…平家物語 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。  【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	3
	こころの帆  【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。  【学びに向かう力、人間性等】 ・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しむ。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のもの見方、感じ方を積極的に豊かにする。	・指導事項 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。  ・教材…こころの帆 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わっている。  【学びに向かう力、人間性等】 ・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のもの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。	○	○	○	4
	言語活動 折句を用いて短歌を作る  【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫する。  【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作する。	・指導事項 ・折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 ・我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。  ・教材…言語活動 折句を用いて短歌を作る ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、折句を用いて表現の仕方を工夫している。  【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。	○	○	○	3
	城の崎にて (志賀直哉)  【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとする。	・指導事項…三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。  ・教材…城の崎にて (志賀直哉) ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。	○	○	○	5

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話 聞	書	読					
<p>唐詩の世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。</li> <li>・作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>・漢詩のきまりを理解する。</li> <li>・教材 唐詩の世界</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>			○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	2
定期考査									1
									合計
									70

# 府中西 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教科： 地歴

科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 新選歴史総合 東京書籍 ）

教科 地歴

の目標：

【知識及び技能】 歴史の変化に関わる諸事象について、相互的な視野から捉え、歴史を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解できるようにする。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能： 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<結びつく世界と日本の開国> ・18世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解させる。 ・市民革命から国民国家の誕生の経過を理解させる。 ・日本の開国とその経過を理解させる	・18世紀のアジアと日本の開国の経過を重点的に指導 ・小テスト	・アジアの国々を結んでいたアジア域内貿易のあり方について追究しようとしている。 ・アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究しようとしている。 ・日本の開国の経過理解している。	○	○	○	5
	<国民国家と明治維新> ・明治維新・日本の産業革命について理解させる。 ・帝国主義の芽生えと変容する東アジア情勢について理解させる	・明治維新について重点的に指導する。 ・小テスト	・日清戦争の原因・過程・結果を考察し、その後の日本の台湾・朝鮮の統治について追究しようとしている。 ・条約改正の経過を理解し、日本の近代化について追究しようとしている。 ・日清戦争と日露戦争のつながりを理解しようとし、現代社会とのつながりを探求しようとしている	○	○	○	10
	中間考査						
	<総力戦と社会運動> ・第一次世界大戦の経過と戦後のヴェルサイユ体制について理解させる ・アジアのナショナリズムの高まりについて理解させる ・大衆の社会運動の高まりと政治参加について理解させる	バルカン半島の複雑な状況を理解し、その影響と第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察させ、総力戦による社会の変化を理解させる。	・第一次世界大戦後、どのように世界平和を目指したか、そしてその問題点はなんだったかを追求しようとしている。 ・大衆の社会運動の高まりが政治にどのような影響を与えたかを理解している。そして主権者意識を高めようとしている。	○	○	○	10
	<経済危機と第二次世界大戦> ・世界恐慌に至った経過やその影響について理解させる。 ・ファシズムがどのように芽生えたのかを理解させる。 ・第二次世界大戦への経過を理解させる。	第一次世界大戦が終焉した1919年から世界恐慌の発生の1929年までの10年間の世界平和の実現のための動きから、1929年から1939年第二次世界大戦発生までの10年間の動きを比較しながら説明していく。また経済の混乱が大戦にどのように影響したかを考察させる。	・世界恐慌がファシズムの芽生えにどのように影響したのかを理解できるようにする。 ・第二次世界大戦中の日本について深く理解しようとしている。	○	○	○	10
期末考査							
2 学 期	<冷戦と世界経済> ・冷戦下のイデオロギー対立の構図を理解させる。 ・冷戦の影響が現代にも続いていることを理解させる	東西の陣営がどのように勢力を拡大していったのかそれぞれ説明していく。 西側陣営が各地に集団防衛機構を構築した目的を理解させ、東側陣営がワルシャワ条約機構を築いた背景を理解させる。	・資本主義、共産主義のそれぞれの内容や問題点を中立的な立場で理解しようとしている。 ・現代社会と歴史についての関連を探求しようとしている	○	○	○	10
	<日本の戦後復興> ・高度経済成長の経過や、そこに至った様々な要因や世界経済との関係を理解させる。 ・占領体制の変化を対米関係の視点から深く理解させる。	戦後の日本の占領政策が現代社会の枠組みとなったことを実感させられるような説明をしていく。	・高度経済成長期が日本国民の生活に与えた影響を考察することができる。 ・冷戦の影響で占領政策の転換が行われた背景について探求することができる。	○	○	○	10
3 学 期	<世界秩序の変容と日本> ・韓国・中国との国交正常化の過程を比較して、その共通点や相違点などを理解させる。 ・日韓基本条約・日中共同声明の史料を読み、それぞれの内容を理解し、その後の課題について理解させる。	混とんとする現代の東アジア情勢を冷戦終結前後に起こった運動がどのような影響を与えたのかを理解させる。	・韓国・中国との国交正常化の過程を比較して、その共通点や相違点などを考察している。 ・日韓基本条約・日中共同声明の史料を読み、それぞれの内容を理解し、その後の課題について表現している。	○	○	○	10
	<現代社会と私たち> ・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察させる。 ・人間のもつ基本的人権を理解し、差別の問題にも着目し追究させる	グループワークなどを適宜行い、自分たちの身近な体験や生活がグローバル化とどのような関係性があるのかを実感させる。 特に情報化社会の利便性と課題を理解させ、情報化社会で安心・安全に生きていくための対応を考察させる。	・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察できる。 ・人間のもつ基本的人権を理解し、差別の問題にも着目し追究できる。	○	○	○	5
							合計
							70









# 府中西 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 高等学校 新課程 生物基礎 （第一学習社） ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現象を理解し、観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標： 生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	第1章 生物の特徴 1. 生物の共通性 ①生物の多様性と共通性 観察1 ささまざまな生物を観察して共通する特徴を探そう 実験1 DNAの抽出  ②生物の共通性の由来 資料1 脊椎動物を例に生物が共通する特徴をもつ理由を考えよう	生物の共通性と多様性 ・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	2
	2. 生物とエネルギー ①生物とエネルギー 資料2 光の有無が植物の生育に与える影響について考えよう ②代謝とATP 資料3 ATPの役割について考えよう ③代謝と酵素 実験2 酵素カタラーゼの働き	細胞とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
	第2章 遺伝子とその働き 1. 遺伝子の本体と構造 ①遺伝情報とDNA 資料4 DNAの塩基どうしの結合にみられる特徴について考えよう 演習1 DNAの分子モデルを作製してみよう ②DNAの複製と分配 資料5 DNAの複製のしくみを考えよう 演習2 DNAの半保存的複製を再現してみよう 観察2 細胞周期の各時期にかかる時間の推定  2. 遺伝情報とタンパク質 ①遺伝情報とタンパク質 資料6 DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列の関係を考えよう ②転写と翻訳 演習3 mRNAが指定するアミノ酸配列を読み取ってみよう ③遺伝子とゲノム 観察3 だ腺染色体の観察	・DNAが全ての生物が共通してもつ遺伝子の本体であることを知る。  ・DNAの遺伝情報はRNAを経て、タンパク質となることを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	8
2 学 期	第3章 ヒトのからだの調節 1. 情報の伝達と体内環境の維持 ①恒常性と神経系 実験3 踏み台昇降運動を行って、心拍数の変化を測定しよう ②恒常性と内分泌系 ③体内環境を調節するしくみ 資料7 血糖濃度とホルモン濃度の関係を考察しよう 資料8 血糖濃度の調節と自律神経系の関わりについて考えよう ④血液凝固  2. 免疫 ①生体防御 資料9 白血球の働きについて考えよう 観察4 食作用の観察 ②自然免疫 ③獲得免疫 資料10 同じ感染症にかかりにくい理由を抗体産生量の変化から考えよう 演習4 免疫の流れを説明してみよう ④自然免疫と獲得免疫の特徴 ⑤免疫と生活	体液には血液・リンパ液・組織液があり、体内環境を形成していることを知る。  ・生体防御の仕組みについて様々なものがあることを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
	第4章 植生と遷移 1. 植生と遷移 ①植生と環境の関わり 観察5 植生と光・土壌の関係を調べよう 観察6 陽葉と陰葉の断面の観察 ②遷移のしくみ 資料11 伊豆大島の調査結果から遷移の要因を考察しよう 2. バイオーム ①遷移とバイオーム 資料12 バイオームの分布を決める要因について考えよう(1) 資料13 バイオームの分布を決める要因について考えよう(2)	・陸上には気候に応じて様々な植生が存在していることを知り、その植生が不変でないことを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
3 学 期	第5章 生態系とその保全 1. 生態系と生物の多様性 ①生態系の成り立ち 観察7 土壌生態系を構成する生物とその環境について調べよう 観察8 環境の違いと種の多様性に関連があるか調べよう ②生態系における生物どうしの関わり 資料14 上位の栄養段階の生物が生態系に与える影響について考えよう	・生態系は生物と非生物的環境からなることと、その中で炭素や窒素などの物質が循環していることを知る。	授業態度、ノート、プリント、問題集	○	○	○	10
							合計
							70





府中西 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】現代社会と健康について理解することができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】課題を発見し、解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを説明することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康に関するさまざまな事象や問題点について理解している。	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解することができるようにする。	健康の考え方や成り立ち 私たちの健康のすがた	国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解することができるようにする。	生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
2 学期	喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解することができるようにする。	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解することができるようにする。	精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復	精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
3 学期	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解することができるようにする。	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び健康づくりが関わっていることを理解することができるようにする。	健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び健康づくりが関わっていることを理解している。 課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
合計							29

府中西 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（「高校生の音楽 1」教育芸術社）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】想像的な表現を工夫したり、芸術の良さと美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的是いけいなどの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	A 単元：リエンション、歌唱 【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりの理解し、身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：歌唱 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】言葉の特性と曲種に応じた発声法を理解し、歌唱表現ができる。 【思考力、判断力、表現力】歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫して行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	4
	A 単元：器楽 【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：器楽 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
2 学 期	A 単元：歌唱 【知識及び技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：歌唱 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識及び技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解し、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫ができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組んでいる。	○	○	○	4
	A 単元：器楽 【知識及び技能】様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：器楽 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識及び技能】様々な表現形態による器楽表現の特徴を知り、他者との調和を意識して演奏する技能が身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組むことができる。	○	○	○	20
3 学 期	A 単元：創作 【知識及び技能】音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組む。	・指導事項：創作 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識及び技能】音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現活動に取り組むことができる。	○	○	○	8
	B 鑑賞 【田中十、山崎十、市川十等】	・指導事項：鑑賞 ・教材：教科書、自校作成プリント				B 鑑賞 【田中十、山崎十、市川十等】				

<p>【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽作品を味わう。</p>	<p>・教材：教科書、目次TF成ノリト</p>	<p>○ ○</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽作品を味わうことができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>8 合計 54</p>
					<p>合計 ##</p>

府中西 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（「高校生の美術 1」 日本文教出版 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】想像的な表現を工夫したり、芸術の良さと美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生かし発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	A 単元：リエンション、鑑賞、素描 【知識及び技能】 グレースケールの明暗表現の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 素描を行う上で必要な基礎的な事項について理解し、立方体や球体などの立体的な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明度の段階が感覚で覚えらる。	・指導事項：鑑賞、素描基礎 ・教材：教科書、自校作成プリント	○		○	【知識・技能】 グレースケールの明暗表現の違いが理解できる。 【思考・判断・表現】 光の方向と、調子の流れを認識し、大まかな明暗表現が始められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明暗表現にタッチの表現を組み合わせることができる。	○	○	○	4
	A 単元：素描 【知識及び技能】 素描制作における構図についての理解をスケッチを通して考える。 【思考力、判断力、表現力等】 鉛筆の使い方の工夫について、様々なタッチによる表現を試す。 【学びに向かう力、人間性等】 明度の段階が感覚で覚えらる。	・指導事項：鑑賞、素描基礎 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 対象物の捉え方、構図について理解し、スケッチから本画へ取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 素描を行う上で必要な基礎的な事項について理解し、立体的な表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 鉛筆の使い方の工夫について、様々なタッチによる表現を試すことができる。	○	○	○	10
	A 単元：着彩 【知識及び技能】 自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 全体のバランスをみて調節し、完成させる。	・指導事項：着彩 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 立体表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つめることができる。 【思考・判断・表現】 光の透過性や反射、テクスチャーの違いの素描表現をタッチや筆圧など様々な鉛筆の表現を組み合わせ試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	10
2 学 期	A 単元：着彩 【知識及び技能】 自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 全体のバランスをみて調節し、完成させる。	・指導事項：着彩 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 立体表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つめることができる。 【思考・判断・表現】 光の透過性や反射、テクスチャーの違いの素描表現をタッチや筆圧など様々な鉛筆の表現を組み合わせ試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	4
	A 単元：デザイン 【知識及び技能】 日常生活でのデザインの役割を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 インテリアデザインについての理解。透視図法による空間表現。 【学びに向かう力、人間性等】 理想の空間を想像し、表現する。	・指導事項：透視図法 ・教材：教科書、自校作成プリント	○		○	【知識・技能】 空間表現の基礎としての透視図法における作図ができる。 【思考・判断・表現】 奥行きや等分割など様々な作図の表現を組み合わせ試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図法を理解し、空間を描くことで新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	20
	A 単元：絵画 【知識及び技能】	・指導事項：着彩 ・教材：教科書、自校作成プリント				【知識・技能】 絵画表現の基礎としての明暗表現ができ				



<p>【知識及び技能】 自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p>	<p>・教材：教科書、目録TF成ノリド</p>	○	<p>絵画表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つけることができる。 【思考・判断・表現】 2階調化の表現方法を工夫することができ、全体のバランスを調節し、細部にこだわり丁寧に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。</p>	○ ○ ○ 8
<p>A 単元：デザイン 【知識及び技能】 日常生活でのデザインの役割を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 色彩についての理解。色相、明度、彩度をもとに配色の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】 色彩の調和、対比を考えて配色計画をする。</p>	<p>・指導事項：透視図法 ・教材：教科書、自校作成プリント</p>	○ ○	<p>【知識・技能】 テーマを明確に伝えられるような構図・配色ができるようになる。 【思考・判断・表現】 色相、明度、彩度をもとに配色の工夫をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩の調和、対比を考えて配色計画をすることができる。</p>	○ ○ ○ 8
3 学 期				合計 64
				合計 ##

# 府中西高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 東京書籍 書道 I ）

教科 芸術

の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
		漢 仮	漢	仮							
1 学 期	オリエンテーション 書写から書道へ 書写と書道の違いを理解する。用具・用材を整える。 書へのいざないとして表現と鑑賞を通して種々な書的美があることを認識する。 これから学習する書道に興味・関心を持つことができる	書写の確認 毛筆による表現と鑑賞 教科書、アンケート	○			○					2
	漢字の書 楷書 漢字（書体）の成立と変遷を知る。楷書の基本用筆を確認しながら、特徴を理解する。古典とその臨書の意義を理解する。 臨書を通して種々な書的美があることを理解する。 新しい内容を理解しようとする姿勢と提出物である課題に主体的に取り組んでいる。	書体について 楷書（特徴・基本用筆） 臨書について 姿勢・執筆法・後かたづけの確認 教科書、書道用具		○		○					4
	漢字の書 楷書 各々の古典の時代や文化的側面と書表現の特徴を理解し、表現する。 上記の知識及び技能を通して種々の表現方法を味わうとともに、毛筆が生み出す芸術性に触れる。 臨書学習を通して表現だけにとどまらず、時代や文化的側面にも触れることで現代社会においても書の効用について考え、関心や興味を持つ。	「九成宮醜泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「自書告身」 「牛欄造像記」 教科書、書道用具、副教材『ペン習字の基礎』、一人1台端末の活用		○		○					10
2 学 期	漢字の書 行書 行書の用筆法の特徴を理解する。 内容や由来、書風、王羲之の人と書、時代背景などについて理解する。 変化豊かな表現を理解して臨書し、行書用筆に慣れる。 「蘭亭序」の内容や由来に触れ、一連の内容を想像することができる。 一つの古典を深く学習することで、より関心や興味を持つ。 変化豊かな行書用筆を学習することで、行書もしくは書道に一層興味を持つ。 原寸で臨書することによって、集中力だけでなく持続力も身についた。	行書の特徴 「蘭亭序」 教科書、書道用具、一人一台端末の活用		○		○					12
	漢字の書 硬筆 硬筆でも行書用筆の特徴を捉えて、行書の字形や円滑な運筆に書き慣れる。 更に練習を重ねることで、変化豊かな運筆ができるようにする。 行書は最も日常性の高い書体であるという認識において、社会に出て役に立つので積極的に取り組むことができる。	行書の用筆・運筆 教科書、副教材『ペン習字の基礎』、ボールペンを含む筆記用具、		○		○					2
	漢字の書 作品制作（半切1/2） 半紙の大きさは違った大きな紙に書くことで、臨書学習が今までとは違う視点で捉えられて一層の効果が上がる学習ができる。 作品制作のため、落款を含めたバランスを意識した構成力が必要である。 通常と違う大字書きすることで、ダイナミックな運筆など毛筆表現の魅力を体験する。	半切1/2 書式について 落款について 教科書、書道用具（半紙、半切1/2）		○		○					8



府中西 高等学校 令和5年度（1学年用）教科 外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語（英語） 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ Vivid English Communication Ⅰ ）

教科 外国語（英語） の目標：

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語い、表現、文法、言語の動きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	時配 数当
			聞	読	発	書					
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 1 #Share Your World 【文法事項】 現在形、過去形、未来形、助動詞  【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については、主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語いに関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>チョコレートの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 2 I Was Drinking Chocolate! 【文法事項】 進行形、不定詞、動名詞  【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については、主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語いに関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
	中間考査		○	○		○		○	○		1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽生結弦選手の活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 3 Inspiration on the Ice 【文法事項】 S+V+0(that節)、現在完了形、受け身  【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については、主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語いに関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>eスポーツの特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 4 Esports' Time Has Arrived 【文法事項】 比較、S+V+0(to不定詞)  【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については、主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語いに関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
期末考査		○	○		○		○	○		1	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>野村萬斎さんの活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 5 Mansai, Kyogen Performer 【文法事項】 分詞（現在分詞・過去分詞）、It is for ... to ~  【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については、主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語いに関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「この世界の片隅に」の特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 6 In the Corner of the World 【文法事項】 現在完了進行形、関係代名詞（主格・目的格）、S+V+0(疑問詞節)  【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については、主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語いに関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	5
	中間考査		○	○		○		○	○		1
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>「この世界の片隅に」についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 6 In the Corner of the World 【文法事項】 現在完了進行形、関係代名詞（主格・目的格）、S+V+0(疑問詞節)  【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については、主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語いに関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	5
	<ul style="list-style-type: none"> <li>24時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours? 【文法事項】 S+V+0(tha節)、助動詞+受け身、関係代名詞what、過去完了形  【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については、主にリーディング、リスニングの力をはかり、表現については、主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語いに関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況を見る。	○	○	○	10

	期末考査		○	○			○				○				1
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIの特徴や活用事例についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence 〔文法事項〕 some/others、分詞構文、関係副詞 【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	○					○	○		10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋プラスチック汚染についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。</li> <li>整理した内容を活用して、文を書いたり、発表したりすることができる。</li> <li>この単元における重要文法事項についての理解を深める。</li> </ul>	Lesson 9 Stop Microplastic Pollution! 〔文法事項〕 S+V+O+C(原形不定詞・現在分詞)、条件を表すif節、仮定法過去 【その他副教材】 ・Focus On Listening Elementary ・速読英単語（入門編）	○	○	○	○	○					○	○	○	10
	学年末考査		○	○			○					○	○		1
														合計	95



